

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉岡 伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 松浦 孝暢

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,470	9.2	332	48.1	285	35.9	206	195.8
26年3月期第3四半期	19,654	15.3	224	△39.4	210	△43.5	69	△69.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 206百万円 (210.0%) 26年3月期第3四半期 66百万円 (△71.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	66.43	—
26年3月期第3四半期	23.59	23.57

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	10,046		3,527	35.1			1,056.42	
26年3月期	10,585		2,965	28.0			1,001.77	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,527百万円 26年3月期 2,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—			
27年3月期(予想)				15.00	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,990	△2.1	350	△21.3	305	△28.2	325	245.7	109.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	3,481,200 株	26年3月期	3,102,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	142,500 株	26年3月期	142,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	3,105,910 株	26年3月期3Q	2,956,845 株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)における我が国の経済は、政府主導の経済政策や日銀の金融政策の効果等による株価の堅調な推移や企業収益の改善により緩やかな景気回復が見られますが、消費税増税の影響により個人消費は低迷しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、再生可能エネルギー事業においては販路拡大に努めてまいりました。なお、IT事業におきましては、平成26年11月28日に「当社連結子会社の株式譲渡(子会社の異動)に関するお知らせ」で発表をさせて頂きましたとおり、マネジメントバイアウトの手法でIT事業の母体となるアルファイト株式会社の全株式を売却することを決定したことから平成27年3月31日をもって撤退することと致しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高214億70百万円(前年同四半期比9.2%増)、営業利益3億32百万円(前年同四半期比48.1%増)、経常利益2億85百万円(前年同四半期比35.9%増)となり、四半期純利益2億6百万円(前年同四半期比195.8%増)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;モバイル事業&gt;

モバイル事業におきましては、スマートフォンの急速な普及により、「1人1台」を超える成熟期を迎えたモバイル市場において、通信キャリア間の加入者獲得競争が激しさを増しております。また、モバイル業界の特性として、数年周期(割賦期間が2年、高機能携帯化など含む)で好・不調の波があり、かつ一昨年まで続いた販売促進施策などの影響(売れすぎた反動)により、モバイル市場が落ち込む中、当社においては「次の上昇に向けた波に乗るための舵取り」が必要となりました。そのような中、当社の販売網の基盤となる代理店への販売支援、及び好立地への新たな出店など、持続的成長に向けた投資を行うと共に店舗の競争力を高める為に、これまで培った成功事例・ノウハウを電子化し、当社独自の教育及び接客サポートツールを開発し、どの地域でも、どの店舗でも、一定レベルの接客クオリティを担保できるように当社販売網へ普及を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は145億63百万円(前年同四半期比0.0%減)、営業利益95百万円(前年同四半期比26.1%減)となりました。

## &lt;オフィスサプライ事業&gt;

オフィスサプライ事業におきましては、引き続き販売管理費の適正化を進めると共に、当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進、Webを活用した新たな顧客獲得手法の確立に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は47億59百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益91百万円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

## &lt;IT事業&gt;

IT事業におきましては、既存顧客へのサービス領域の拡大を推し進めて、リスティングやサイト制作による新規顧客の開拓・獲得に注力してまいりましたが、前記のとおり平成27年3月31日をもって撤退する予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は92百万円(前年同四半期比12.2%減)、営業利益26百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。

## &lt;水宅配事業&gt;

水宅配事業におきましては、水源となる地域での地震発生等の可能性を鑑み、平成24年8月より新規顧客の獲得を取りやめております。そのため本事業においては、既存のお客様がウォーターパックをご購入いただくことにより、継続収益が得られるビジネスモデルとなっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億93百万円(前年同四半期比21.1%減)、営業利益67百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。

## &lt;福祉事業&gt;

福祉事業におきましては、千葉県柏市にモデル校として教室を開き、介護職員初任者・実務者研修及び障がいを持つ学生に向けた放課後の塾(放課後等デイサービス)の運営を進めると共に、新たな教室の開校準備のためにノウハウの開発に注力いたしました。なお、本事業においては、平成26年7月1日にアルファディスカーレ(株)の福祉事業に係わる事業を会社分割し、当該会社の全株式をマネジメントバイアウト方式により譲渡し、事業撤退いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17百万円（前年同四半期比35.4%減）、営業損失22百万円（前年同四半期は営業損失47百万円）となりました。

<再生可能エネルギー事業>

再生可能エネルギー事業におきましては、引き続き、発電施設の建設用地確保及び転売スキームの確立に注力し、売電及び転売に向けた太陽光パネルの発注、整地（伐採、抜根、造成等）、架台組み立て等を進めた結果、新たに完成した施設による売電収入が増加するなど順調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18億95百万円（前年同四半期は20百万円の売上高）、営業利益76百万円（前年同四半期は営業損失42百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用したテレマーケティングの受託業務及び新たな事業を立ち上げるために、テストマーケティングを進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4百万円（前年同四半期比46.9%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は100億46百万円で、前連結会計年度末に比べ5億38百万円の減少となりました。主な増減は有形固定資産の増加10億95百万円、受取手形及び売掛金の減少13億23百万円等であります。

負債は65億19百万円で、前連結会計年度末に比べ11億円の減少となりました。主な減少は買掛金の減少7億42百万円、短期借入金の減少5億50百万円等であります。

純資産は35億27百万円で、前連結会計年度末に比べ5億61百万円の増加となりました。主な増加は、9月の第三者割当による普通株式発行による資本金の増加2億円、資本剰余金の増加2億円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,052,746	2,130,662
受取手形及び売掛金	2,311,321	987,973
商品及び製品	911,488	1,130,235
仕掛品	1,299,336	567,591
原材料及び貯蔵品	5,807	246
その他	884,864	1,076,834
貸倒引当金	△11,312	△6,295
流動資産合計	7,454,251	5,887,247
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	420,402	907,835
土地	819,565	1,291,307
その他	739,417	876,229
有形固定資産合計	1,979,385	3,075,372
無形固定資産		
のれん	182,114	117,948
その他	100,480	80,796
無形固定資産合計	282,595	198,744
投資その他の資産		
差入保証金	704,999	715,156
その他	202,854	238,142
貸倒引当金	△39,063	△68,019
投資その他の資産合計	868,790	885,279
固定資産合計	3,130,771	4,159,397
資産合計	10,585,023	10,046,644
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,056,510	1,314,042
短期借入金	1,040,000	490,000
1年内返済予定の長期借入金	554,000	630,663
未払法人税等	114,892	24,884
その他	1,330,638	1,104,562
流動負債合計	5,096,040	3,564,152
固定負債		
長期借入金	2,291,298	2,764,887
役員退職慰労引当金	115,274	54,899
その他	117,266	135,628
固定負債合計	2,523,838	2,955,414
負債合計	7,619,878	6,519,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	528,728	728,734
資本剰余金	488,330	688,336
利益剰余金	2,198,849	2,360,769
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,965,144	3,527,077
純資産合計	2,965,144	3,527,077
負債純資産合計	10,585,023	10,046,644

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	19,654,114	21,470,900
売上原価	17,708,151	19,341,911
売上総利益	1,945,963	2,128,989
販売費及び一般管理費	1,721,302	1,796,252
営業利益	224,660	332,736
営業外収益		
受取利息	1,318	609
受取手数料	3,905	2,523
受取補償金	—	1,895
その他	2,074	3,558
営業外収益合計	7,298	8,588
営業外費用		
支払利息	21,123	34,831
支払手数料	—	19,000
その他	748	2,021
営業外費用合計	21,871	55,852
経常利益	210,087	285,471
特別利益		
投資有価証券売却益	657	—
関係会社株式売却益	—	754
受取和解金	10,200	—
特別利益合計	10,857	754
特別損失		
固定資産除却損	4,351	3
特別損失合計	4,351	3
税金等調整前四半期純利益	216,593	286,223
法人税、住民税及び事業税	123,072	77,700
法人税等調整額	23,774	2,203
法人税等合計	146,846	79,904
少数株主損益調整前四半期純利益	69,747	206,318
四半期純利益	69,747	206,318



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,747	206,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,182	—
その他の包括利益合計	△3,182	—
四半期包括利益	66,564	206,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,564	206,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	I T 事業	水宅配 事業	福祉事業	再生可能 エネルギー 事業	その他 事業	計		
売上高										
外部顧客 への売上 高	14,569,540	4,720,486	62,963	245,731	26,520	20,229	8,641	19,654,114	-	19,654,114
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	2,782	42,885	-	-	-	-	45,668	(45,668)	-
計	14,569,540	4,723,269	105,849	245,731	26,520	20,229	8,641	19,699,782	(45,668)	19,654,114
セグメント 利益 又は損失 (△)	128,712	88,744	28,659	72,975	△47,530	△42,718	△4,183	224,660	-	224,660

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	I T 事業	水宅配 事業	福祉事業	再生可能 エネルギー 事業	その他 事業	計		
売上高										
外部顧客 への売上 高	14,563,659	4,753,558	42,487	193,941	17,130	1,895,534	4,589	21,470,900	—	21,470,900
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	6,034	50,424	—	—	—	—	56,458	(56,458)	—
計	14,563,659	4,759,592	92,911	193,941	17,130	1,895,534	4,589	21,527,359	(56,458)	21,470,900
セグメント 利益 又は損失 (△)	95,104	91,171	26,110	67,281	△22,674	76,238	△496	332,736	—	332,736

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成26年7月1日付で、当社の連結子会社であったアルファディスカーレ(株)の福祉事業に係わる事業を会社分割し、当該会社の全株式を譲渡しております。なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント情報には福祉事業について売却時点までの業績が計上されています。